



人を育て 人を活かす

日総工産株式会社

東証第1部 コード6569

2021年3月期 **第2四半期**

決算説明会資料

2020年11月10日

2021年3月期第2四半期 実績

- 前年同期比で減収減益
- コロナの影響は全体としては底打ち
- 主力の自動車関連は、6月以降回復傾向
- 設備保全のニーズは堅調

2021年3月期 連結業績予想

- 自動車メーカーを中心に回復が当初予定より早まる
- 最近の業績を踏まえ、前回発表予想を上方修正

・こちらが、サマリーになります。

1 2021年3月期第2四半期 **決算概要**

2 2021年3月期第2四半期 **活動の概況**

3 **今後の見通し(2021年3月期)**

4 **トピックス**

5 **株主還元方針**

6 **補足資料**



1

2021年3月期第2四半期 決算概要

2021年3月期第2四半期 連結業績ハイライト

(単位：百万円)

ポイント

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により基幹の総合人材サービス事業が減収となる。
- ・販管費を抑制したものの、営業利益は35.2%の減益。
- ・経常利益は、営業外収益に助成金収入を計上したことから減益幅は縮小。
- ・その他事業は、増収となったものの経費増加により営業損失計上。

	20年3月期 第2四半期		21年3月期 第2四半期		対前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	36,797	100.0%	32,972	100.0%	△3,825	△10.4%
売上総利益	6,210	16.9%	5,093	15.4%	△1,117	△18.0%
販管費	5,082	13.8%	4,361	13.2%	△720	△14.2%
営業利益	1,128	3.1%	731	2.2%	△396	△35.2%
経常利益	1,154	3.1%	989	3.0%	△164	△14.3%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	785	2.1%	596	1.8%	△188	△24.0%

Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

4

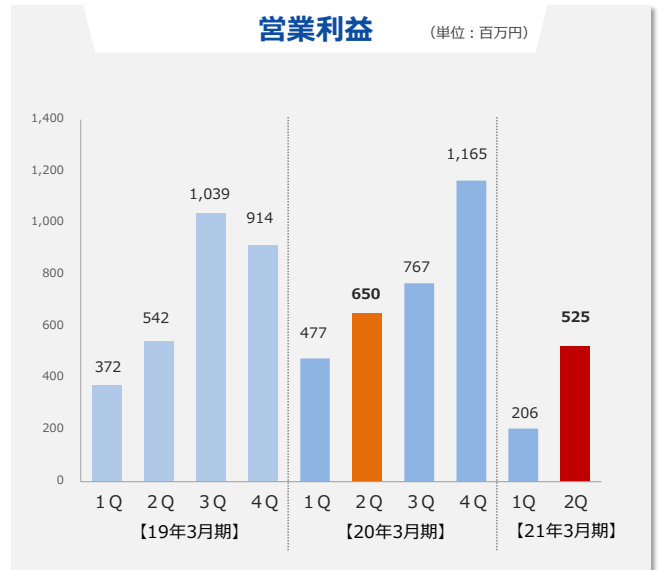
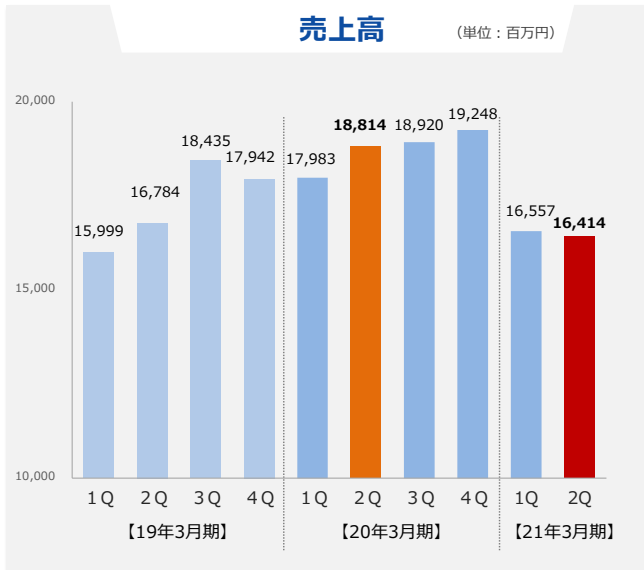
・2021年3月期第2四半期の連結業績についてご説明いたします。

- ・売上高につきましては、329億72百万円(前年同期比 38億25百万円、10.4%減)
- ・売上総利益につきましては、50億93百万円(前年同期比 11億17百万円、18.0%減)
- ・販管費につきましては、43億61百万円(前年同期比 7億20百万円、14.2%減)
- ・営業利益につきましては、7億31百万円(前年同期比 3億96百万円、35.2%減)
- ・経常利益につきましては、9億89百万円(前年同期比 1億64百万円、14.3%減)
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、
5億96百万円(前年同期比 1億88百万円、24.0%減)

となりました。

- ・営業利益は、第1四半期の前年同期比56.8%減に対し、第2四半期は前年同期比35.2%減と改善しておりますが、引き続き厳しい状況が続いております。
- ・自動車関連において、第1四半期では、非稼働の待機者が多数発生しておりましたが、第2四半期では、勤務シフトは通常に戻り、時間外残業も昨年並みではありませんが徐々に回復してきている状態にあります。
- ・当社では、雇用の維持を経営方針の中心に置いた運営を行っておりますが、上期に就業者の雇用維持のための雇用調整助成金、約2億3,000万円を営業外で計上いたしました。
- ・その他事業では、増収となりましたが、人件費など運営経費が増加したことにより、営業損失となりました。

2021年3月期 四半期単位の連結業績



Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

・連結の売上高と営業利益の四半期単位の推移グラフになります。

2021年3月期第2四半期 単体業績ハイライト

(単位：百万円)

売上高について

- 全体の売上高は、稼働は回復傾向にあるものの、在籍減少の影響が大きく11.2%減収。

費用・利益面について

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、従業員募集費が引き続き減少し販管費は14.2%減少。
- 営業外収益に助成金収入を計上。

	20年3月期 第2四半期		21年3月期 第2四半期		対前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	33,955	100.0%	30,155	100.0%	△3,800	△11.2%
売上総利益	5,887	17.3%	4,839	16.0%	△1,048	△17.8%
販管費	4,756	14.0%	4,079	13.5%	△676	△14.2%
営業利益	1,131	3.3%	760	2.5%	△371	△32.8%
経常利益	1,136	3.3%	977	3.2%	△158	△14.0%
四半期純利益	777	2.3%	605	2.0%	△171	△22.0%

Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

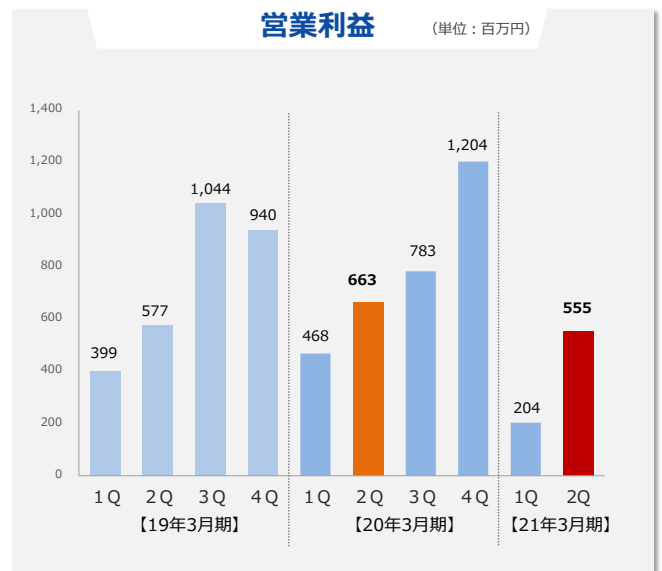
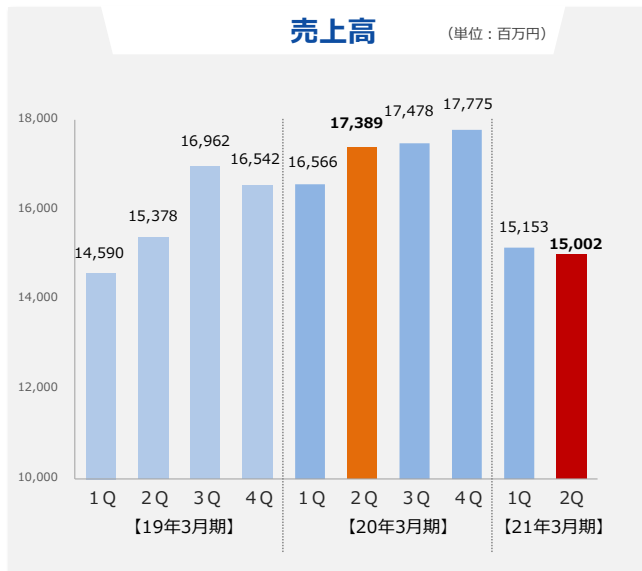
6

・2021年3月期第2四半期の単体業績についてご説明いたします。

- ・売上高につきましては、301億55百万円(前年同期比38億円、11.2%減)
- ・売上総利益につきましては、48億39百万円(前年同期比10億48百万円、17.8%減)
- ・販管費につきましては、40億79百万円(前年同期比6億76百万円、14.2%減)
- ・営業利益につきましては、7億60百万円(前年同期比3億71百万円、32.8%減)
- ・経常利益につきましては、9億77百万円(前年同期比1億58百万円、14.0%減)
- ・四半期純利益につきましては、6億5百万円(前年同期比1億71百万円、22.0%減)となりました。

- ・売上高は、本格的に回復したという状況ではなく、在籍減少の影響もあり、前年同期比11.2%減となりました。
- ・営業利益は、前年同期に対し32.8%減、3億7,100万円減少となり、第1四半期の前年同期比56.3%減に対し、改善いたしました。これは主に従業員募集費となりますが販売管理費を6億7,600万円減少したことによるものであります。
- ・販売管理費について、従業員募集費は前年度上期実績7億2,700万円に対し、今期は1億4,800万円であり、約5億8,000万円削減いたしました。これは、バックオーダーとのバランスをみてコントロールした結果であります。またコロナ禍による活動の制限に伴い活動費が減少いたしました。
- ・上期(4月から9月)の稼働日数合計は前年同期に対し、3.8日減(3.5%減)となり、月当たりの時間外(残業、休出)は前年同期24.2時間に対し、今期は18.1時間であり、約25%減少いたしました。有給休暇の取得日数も前年同期に対し、約38%増加し収益への影響が発生いたしました。

2021年3月期 四半期単位の単体業績



Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

7

- ・日総工産単体の売上高と営業利益の四半期単位の推移グラフになります。
- ・当社のビジネスは通常であれば、上期1に対し下期2の割合で利益が計上できますが、今期は新型コロナウイルス感染拡大の影響や今まで在籍が右肩上がりで推移してきたという状況が変わるなど複雑な要因が多数あるため、上期1：下期2という形にはならないと見込んでおります。例年通りの推移であれば営業利益は通期で22～23億円を見込めるのですが、今期はそうならない理由を後ほどご説明いたします。
- ・第2四半期期間の売上総利益率は第1四半期に対し2.6ポイント改善いたしました。



2 2021年3月期 活動の概況

2021年3月期第2四半期 業績サマリー



連結業績

売上高 32,972百万円 (前年同期比 Δ 3,825百万円/ Δ 10.4%)
営業利益 731百万円 (前年同期比 Δ 396百万円/ Δ 35.2%)

● 業種別売上高 (前年同期比)

自動車 … Δ 18.6%
電子デバイス … +4.6%

・自動車関連では、四半期単位で売上高が増加するも、在籍数減少の影響もあり、前年同期比で18.6%減少。電子デバイス関連では、半導体関連が堅調に推移したが電子部品の低迷もあり、4.6%の増加にとどまる。

● 四半期末在籍者数

12,524名 (前期末比 Δ 2,246名)

・在籍数は、顧客の外部人材ニーズは回復傾向も、在籍増加に転じず、前期末比で2,246名減少。

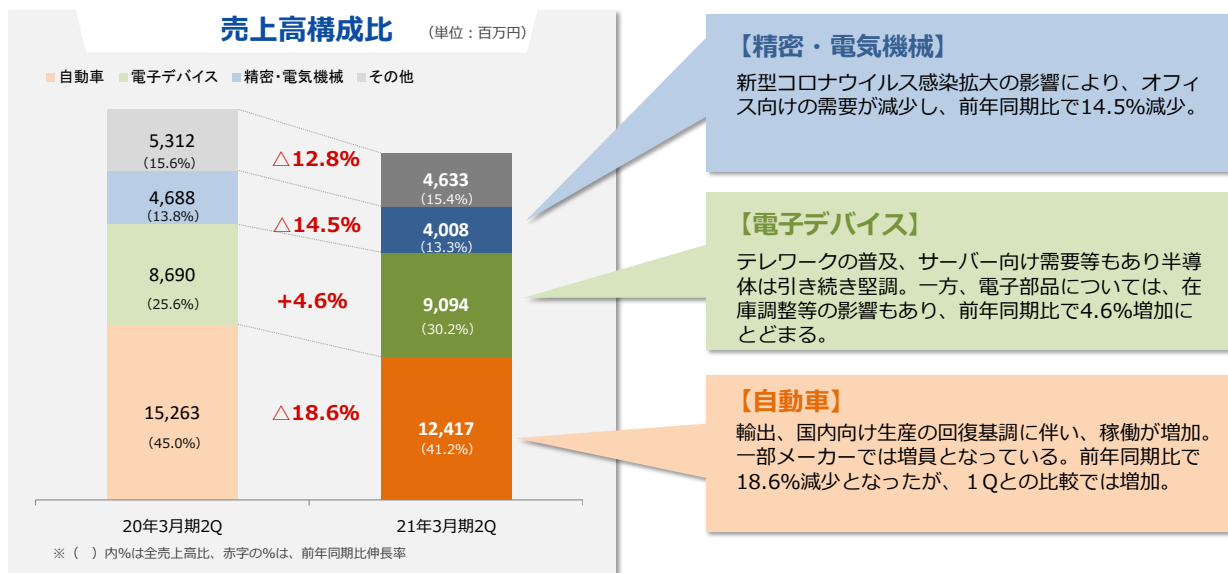
● 一人当たり売上高/月

373千円 (前年同期比 Δ 20千円)

・高単価作業所への技能社員の配属は引き続き推進、また稼働時間(稼働日数、残業時間、休出日数等)の回復もあり、一人あたりの売上高は1Qと比較し増加。

- ・2021年3月期第2四半期の業績サマリーになります。
- ・詳細については、次ページ以降でご説明いたします。

2021年3月期第2四半期 業種別売上高（単体）

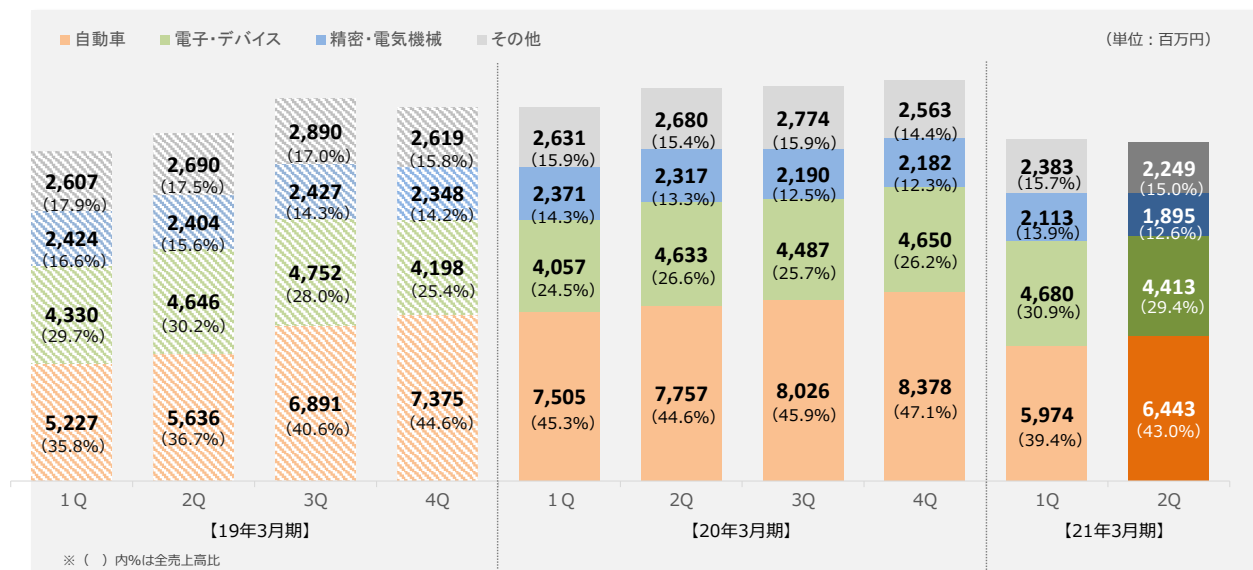


Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

10

- ・日総工産単体の業種別売上高についてご説明いたします。
- ・電子デバイス以外は、前年同期に対し、減収となっております。

2021年3月期 四半期単位業種別売上高（単体）



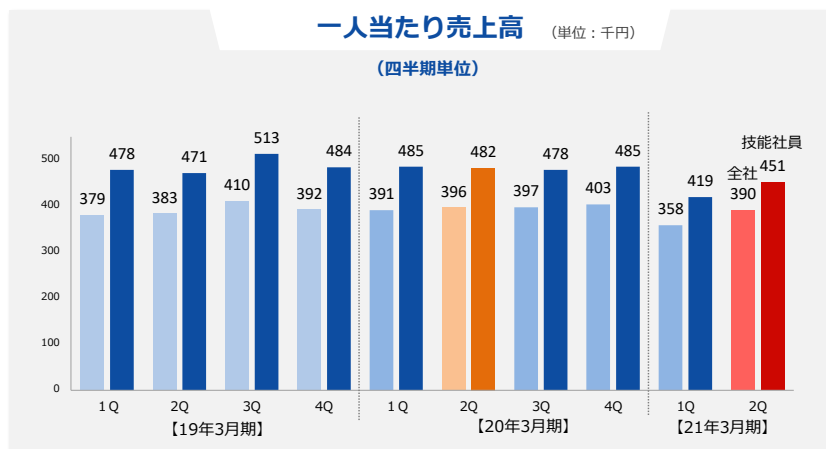
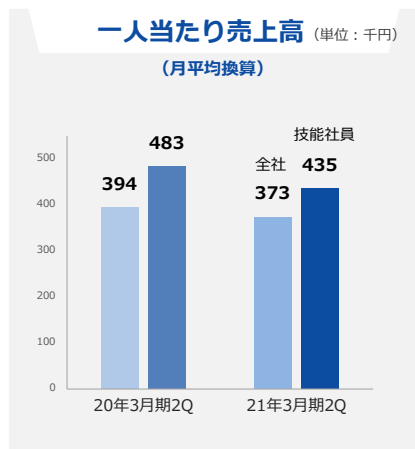
Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

11

- ・業種別売上高の四半期単位の推移グラフになります。
- ・自動車の売上高は、第1四半期では前年同期の約79.6%でしたが、第2四半期は83.1%まで回復いたしました。9月単月では、前年同月に対し約90.5%にまで回復してきております。これは自動車のアカウント企業の回復がボデーメーカーを中心に現れてきた結果であります。部品メーカーや他の自動車メーカーの回復は未だという状況でございます。
- ・電子デバイスの売上高は、第1四半期は前年同期の115%であったのが、第2四半期では95.3%と減少いたしました。これは、半導体は引き続き、順調に推移いたしました。電子部品アカウント企業で在庫の状況を見ながら、少し第2四半期で生産調整をかけたことが影響いたしました。
- ・精密電気では複合機を作っている主要企業において、コロナ禍の影響によりリモートワークが主流となることで事務所で必要な消耗品などが売れにくくなってきているということが影響し、第2四半期の売上高は前年同期の約82%となりました。
- ・その他の業種には住宅関係部材など様々な業種を含んでおりますが、第2四半期の売上高は前年同期より約15%減少いたしました。

一人当たり売上高（単体）

- 2021年3月期2Q累計 <全社> 一人当たり売上高 373千円（前年同期比 △20千円）
<技能社員> 一人当たり売上高 435千円（前年同期比 △48千円）
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少していた稼働時間（稼働日数、残業時間、休日数等）が回復基調。前年同期比で減少となったが、1Qとの比較では増加。請求単価は引き続き増加傾向。



Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

12

- ・一人当たり売上高についてご説明いたします。
- ・一人当たり売上高は前年同期に対し、全社2万円、技能社員では4.8万円、減少いたしました。第1四半期の一人当たり売上高は、前年同期比で全社3.3万円、技能社員6.6万円の減少でしたので、回復してきてはおりますが、まだ不十分な状態でございます。
- ・時間当たり平均請求単価では4月2,220円に対し、9月では2,273円で50円以上上昇しておりますが、一人当たりの売上高が前年同期より減少しているのは、やはりまだ稼働状況が本来の状態に戻ってきていないことによります。
- ・9月の一人当たりの売上高は、自動車は前年同月に対し、約10%増加いたしました。電子デバイスも前年同月に対し、増加いたしました。半導体が非常に好調であったのに対し、電子部品企業では前年同月の約95%に留まっており、これはまだ時間外、残業が以前の状態に戻ってきていないということによります。
- ・9月の一人当たりの売上高をアカウント別に見ますと、自動車企業は前年同月に対し、8.7%増となり、前年より一人当たり売上高やシェア率も伸びてきております。電機企業は前年同月に対し、11.1%増となりました。電子部品企業は時間外、残業が回復していないこともあり、前年同月に対し、6%程度減少いたしました。

在籍人数（単体）



前期末比

△2,246名（△15.2%）

ポイント①

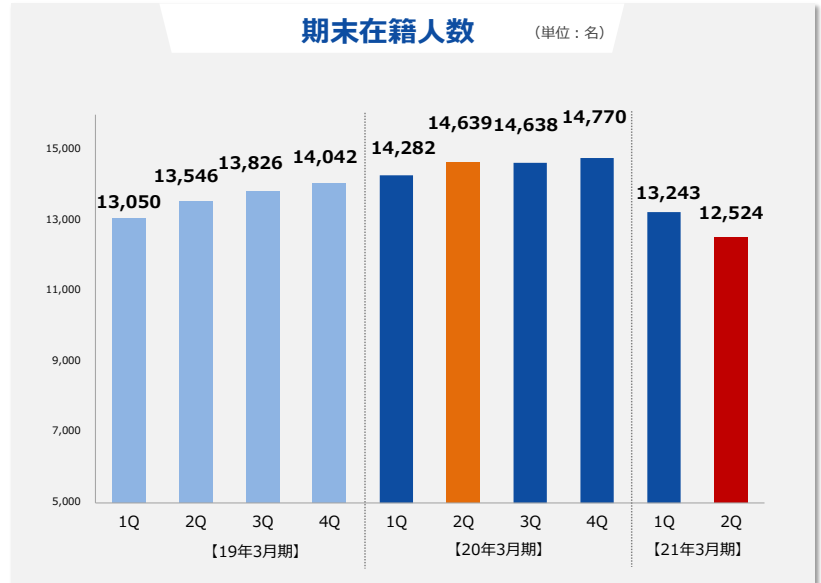
新型コロナウイルス感染拡大による影響は、6月に底をうっており、在籍数減少に歯止めがかかりつつある。新規入社数も、9月から増加。

ポイント②

顧客の人材ニーズは、自動車関連を中心に回復傾向。一部メーカーでは増員となっている。

期末在籍人数

（単位：名）



Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

13

- ・四半期単位の期末在籍についてご説明いたします。
- ・2021年3月期第2四半期末の在籍は、12,524名となり、前期末より2,246名減少いたしました。
- ・当初は、前期末14,770名に対し、6月末の1,527名減で底を打つと見込んでおりましたが、9月末には6月末よりさらに719名減少いたしました。
- ・要因の一つとして、自動車部品メーカーで6月末に雇止めになった方々が7月以降、現場異動せずに退職されたことがございます。当社では、雇用維持の継続を考えておりましたが、その企業だけで150名程度、退職されてしまいました。この状況は8月のお盆時点で底を打ち、以降は微増で推移しております。
- ・電子部品企業の在籍は在庫調整の影響もあり約140名減少いたしました。
- ・それ以外では約400名在籍が減少いたしました。

技能社員数（単体）

ポイント①

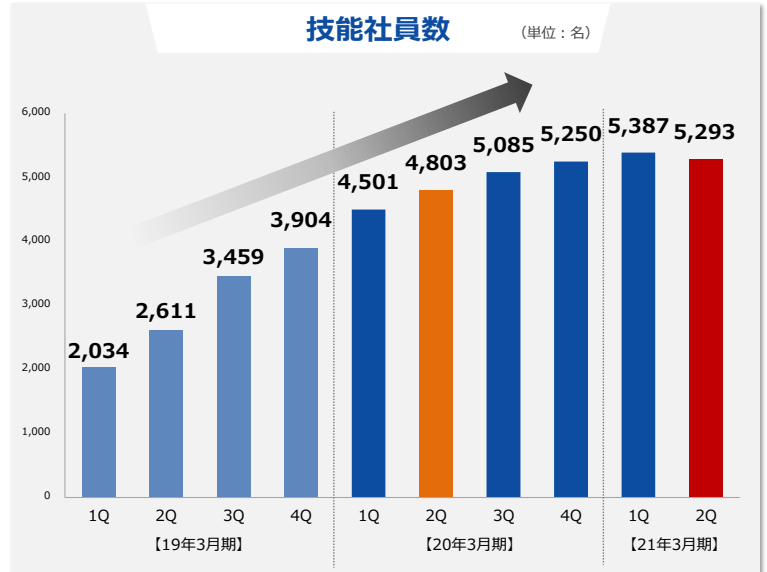
一部サプライヤーの減産の影響により、退職者が増加。コロナウイルス感染拡大の影響（県外への異動が困難等）もあり技能社員数は、減少。

ポイント②

半導体関連では技能社員数が引き続き増加、顧客のニーズも高い。

ポイント③

技能社員数は減少となったが、全体在籍に占める技能社員の比率は、42.3%に増加。（2021年3月期1Q 40.7%）



・技能社員についてご説明いたします。

- ・今回、初めて技能社員が減少いたしました。一番の要因は前述いたしました自動車部品メーカーで就業していた150名の現場異動がうまくできず、退職されたということであります。
- ・以前にもご説明いたしました。コロナ禍において、県をまたいでの移動となると2週間の待機が発生することや正社員であるので異動してもらいますが、自宅通勤者に転勤を伴う異動に応じていただけなかったことが、この技能社員の減少に繋がっております。
- ・半導体では、引き続き設備保全の引き合いが非常に強く、月30名弱程度、配属しております。
- ・技能社員の全社在籍に占める割合は42.3%と増えておりますが、これは有期雇用の方々の退職により全社在籍が減ったことで母数が減少したことによります。

アカウント企業について（単体）



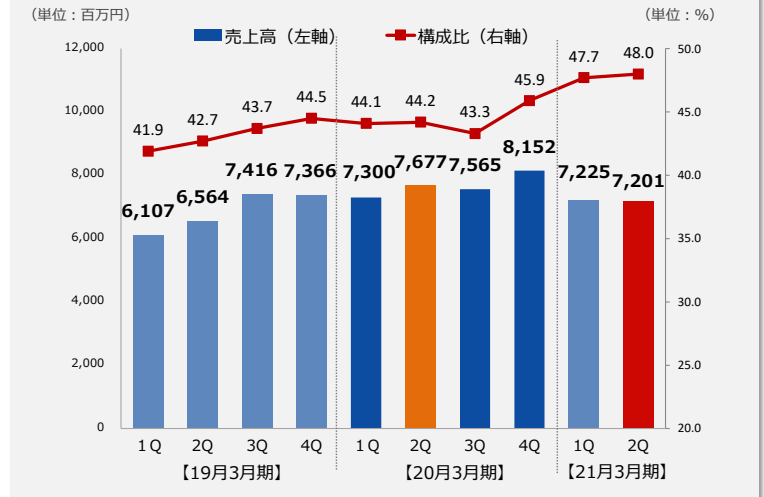
ポイント①

2021年3月期2Qにおけるアカウント企業グループの売上高に占める比率は48.0%に増加。
（2021年3月期1Q 47.7%）

ポイント②（前年同期比）

- ・全社の売上高は、11.2%減少したがアカウント企業グループについては、6.2%減少にとどまる。
- ・2Q単体で、自動車企業グループ及び、電機企業グループが前年同期比で売上高が増加。
- ・電子部品企業グループは、回復が遅れており前年同期比で売上高は減少。

アカウント企業グループ売上高



Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

15

・アカウント企業についてご説明いたします。

- ・アカウント企業の中で前年から非常に好調に推移しているのは自動車企業のボデーメーカーと電機企業の半導体メーカーであり、自動車企業の売上高は前年同期比10%増、電機企業は前年同期比17%増となりました。
- ・電子部品企業の売上高は前年同期に対し、約2割減少いたしました。
- ・全社売上高におけるアカウント企業売上高の占めている割合は、増えている状態にあり、全社売上高が前年同期比11.2%減少に対しアカウント企業合計では6.2%減少に留まっております。しかしながら、このアカウント企業が前年同期比6.2%減少となった背景には電子部品企業の一部における在庫調整の影響がございました。

離職率（単体）



2021年3月期第2四半期 実績

全体の離職率

4.7%

(対2020年3月期 ±0.0P)

技能社員の離職率

2.3%

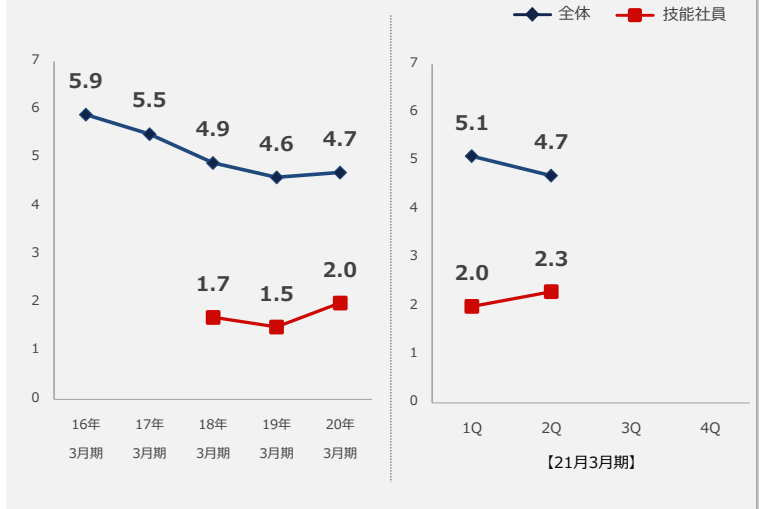
(対2020年3月期 +0.3P)

ポイント

- ・技能社員については、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、離職率は0.3ポイント上昇。
- ・全体の離職率は、4.7%と0.4ポイント改善し、前年度並みに回復。

離職率推移

(単位：%)



Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

16

- ・離職率についてご説明いたします。
- ・全社の離職率は、第2四半期累計では4.7%となり、第1四半期の5.1%より下降いたしました。技能社員の離職率は、第1四半期2.0%に対し、第2四半期累計では2.3%と上昇しております。この大きな要因は、前述いたしました自動車部品メーカーで第2四半期内に150名が退職されたことがございます。
- ・第2四半期(7～9月)の離職率は全社で4.3%、技能社員は2.6%となりました。

教育実績（単体）



ポイント①

新規入社数の減少及び、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環から受講者数の制限も実施しており、実績数は減少。

ポイント②

半導体製造企業からの受注は、引き続き堅調、設備保全に対する顧客のニーズも高い。

ポイント③

遠隔地で受講可能なWebコンテンツ及び動画教材を充実。

● 2021年3月期第2四半期 コース別教育実績（延べ人数）

（単位：名）

研修名	2Q (7月～9月)	内容	20年3月期 2Q
技能社員教育	202	技能社員スタンダード教育	483
保全基礎教育	84	設備保全基礎教育	65
認定訓練教育	16	認定職業訓練校 (宮城県・長野県)	57
製造教育	559	ものづくり教育、 製造スタッフ配属前実習、 移動教育等	717
安全教育	507	危険体感教育	1,182
社員教育	107	新卒研修、途中入社者研修、 中堅社員研修、 新任主任教育、 業務管理者教育	115
その他	—	外部受託教育	—
合計	1,475		2,619

Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

17

- ・教育実績についてご説明いたします。
- ・全体として、配属される方の数が減少していること、新型コロナウイルス感染の予防のために研修受講者は減少いたしました。
- ・保全教育は、本来であれば30プラスα名の研修が可能ですが、コロナ禍であるので、密を避けて30名弱の研修を毎月、行っております。
- ・新しい試みとして、ウェブでの研修コンテンツを拡充いたしました。リモートでの教育、座学が中心となりますが、体制はだいぶ整理ができた状況でございます。

その他の事業 事業収益



ポイント

- ・売上高は、6号館への入居者数増加に伴い前年同期比で増加。
- ・1～5号館は、高い入居率を維持。
- ・提供サービスの安定化に伴う原価が増加し、39百万円の営業損失。

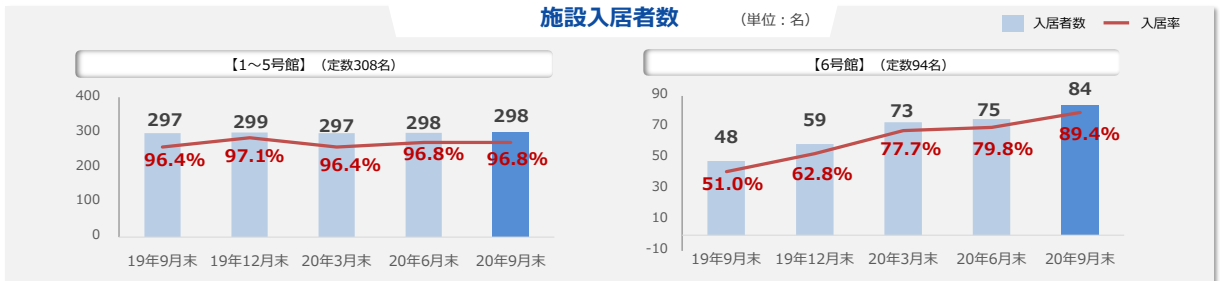
● その他の事業実績

(単位：百万円)

	20年3月期 第2四半期		21年3月期 第2四半期		対前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	1,369	100.0%	1,461	100.0%	91	6.7%
経費	1,367	99.8%	1,500	102.7%	133	9.7%
営業利益	2	0.2%	△39	-2.7%	△41	-

施設入居者数

(単位：名)



Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

18

・その他の事業についてご説明いたします。

- ・既存施設(1～5号館)は入居率96%超で推移しております。
- ・課題である6号館の入居者は9月末で94名の定員に対し84名まで増加しておりますが、新しい施設のため、介護職員の定着の問題、運用側の経費が増加していることにより、赤字となりました。
- ・今期は上期の赤字を下期で取り返し、通期で±ゼロという計画になっております。

3 今後の見通し (2021年3月期)

2021年3月期 通期連結業績予想の修正



当社は、最近の業績動向を踏まえ、2020年8月7日に公表いたしました2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の通期連結業績予想を修正いたしました。

■ 2021年3月期通期連結業績予想数値（2020年4月1日～2021年3月31日）

（単位：百万円）

	前回発表予想		今回修正予想		前回発表予想比		20年3月期実績	
	予想	百分比	予想	百分比	増減額	増減率	実績	百分比
売上高	64,000	100.0%	67,000	100.0%	3,000	4.7%	74,966	100.0%
営業利益	1,500	2.3%	1,800	2.7%	300	20.0%	3,061	4.1%
経常利益	1,750	2.7%	2,100	3.1%	350	20.0%	3,149	4.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,050	1.6%	1,300	1.9%	250	23.8%	2,033	2.7%

Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

20

・通期連結業績予想についてご説明いたします。

- ・今回、修正をいたしました背景についてですが、自動車につきましては、ボデーメーカーは特にアカウント企業を中心に回復してきておりますが、まだ回復はサプライヤーにまで及んでいないということがありますので、今後はこのサプライヤーの回復と他の部品メーカーの回復に期待を寄せております。当社は、アカウント企業のボデーメーカー、サプライヤーを中心にシェアを上げていくことで強い基調で回復を目指してまいります。
- ・電子デバイスでは、半導体は引き続き堅調であり、電子部品では在庫調整などの問題は下げ止まり状態となり、自動車向けデバイスの回復、そして通信機器の分野につきましても、いよいよ5Gが徐々に普及し始めてきていることにより回復してくると見込んでおります。
- ・在籍者数は、9月の12,500名からなだらかに回復するであろうと見込み、期末13,000名を前提に売上高を算出しております。
- ・しかし、売上高の見込みについては、今後、時間外、残業や休日出勤が増えてくる状況になれば、売上高670億円を超えることは十分に考えられますし、第3四半期以降、例えば新たなコロナ感染拡大の問題や米中問題が発生しない限りは、数字としてははっきり申し上げることは難しいのですが、営業利益はかなり上ぶれることが見込まれます。
- ・営業利益を18億円とした理由といたしましては、今期、在籍者数が大幅に減少したこと、そしてこれから新しい時代に必要な人材の育成、あるいはM&Aに対し、積極的に残りの半期でしかけていくための費用として、3億円の経費を計上しておりますことをご理解いただきたいと存じます。また、M&Aについては相手があることですから、M&Aの調査費用ということで計上しておりますが、少し流動的なものでございます。

4 トピックス

株式会社クロスコンパスとの資本業務提携について



当社は、2020年9月15日開催の取締役会において、株式会社クロスコンパスとの資本業務提携を行うことについて決議し、2020年9月17日付で資本提携契約及び業務提携契約を締結いたしました。

業務提携の内容

両社は、主に以下の事項に関する業務提携を、実行してまいります。

- ・双方の顧客基盤及び営業網を活用したサービス拡販
- ・製造業向けプラットフォームの共同開発
- ・育成を目的とした人材交流
- ・その他企業価値向上に資すると、双方が協議した内容

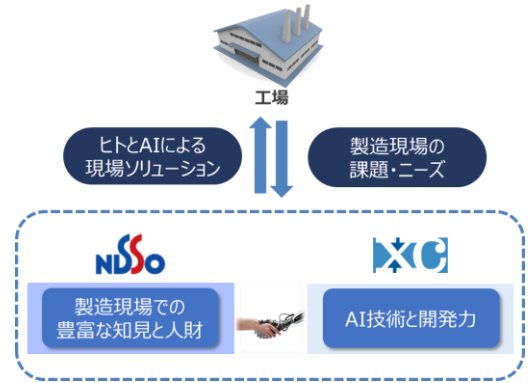
【資本提携の内容】

クロスコンパス社は当社に対し、第三者割当増資の方法により普通株式の発行を行い、当社はこれを引き受けました。

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有の割合：0.0%)
(2) 取得株式数	100,000株 (議決権の数：100,000個) (議決権所有の割合：19.9%)
(3) 取得価額	300百万円
(4) 異動後の所有株式数	100,000株

※詳細につきましては、2020年9月17日に公表いたしました「(開示事項の経過)株式会社クロスコンパスとの資本提携契約及び業務提携契約締結に関するお知らせ」をご覧ください。

Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved



・株式会社クロスコンパス社との業務提携の内容についてご説明いたします。

- ・いよいよ具体的にお客様を巻き込んだいわゆる人とAIによる現場で新しいソリューションの形を提案はじめております。
- ・まずは当社のアカウント企業と先般、商談をいたしまして、こちらは年内に今まで提供していない全く新しいサービスが立ち上がる計画でございます。プロトモデルを一つ作りながら、ほかのアカウント企業、あるいはクロスコンパス社の顧客に積極的に売り込んでいく計画であり、この事業分野ではエンジニア、あるいは育成に対する投資を積極的に行ってまいります。
- ・中期的にはこのAIの分野、単なるAIのエンジニアということではなく製造業向けのAIということに少し特化をしたエンジニアの採用と育成ということを積極的に仕掛けながら他社との差別化を図ってまいります。

CSR報告書2020を公開

- ・当社グループの企業価値向上を実現するために、法令や社会のルールを尊重し、サステナブルな社会の実現に向けてCSR活動を行っています。2020年10月に当社ホームページにCSR報告書2020を公開いたしました。
- ・当社グループは、ESG（環境、社会、ガバナンス）の視点にもとづき、SDGsが目指す「持続可能な開発目標」を実践することで、社会からの要請に応えることが何よりも重要なことだと考えております。
- ・ステークホルダーエンゲージメントをもとに、具体的な計画と目標を設定することで社会課題の解決を目指してまいります。
- ・これからも、事業を通じて社会課題の解決に貢献し、社会とともに持続的に成長していくことを目指して企業活動に取り組んでまいります。また、新しい時代に即した人づくりを推進し、働く人の成長と日本の未来に貢献するために挑戦を続け、企業価値の向上に努めてまいります。



- ・当社は、2020年10月に日総グループCSR報告書を当社ホームページに公開いたしました。

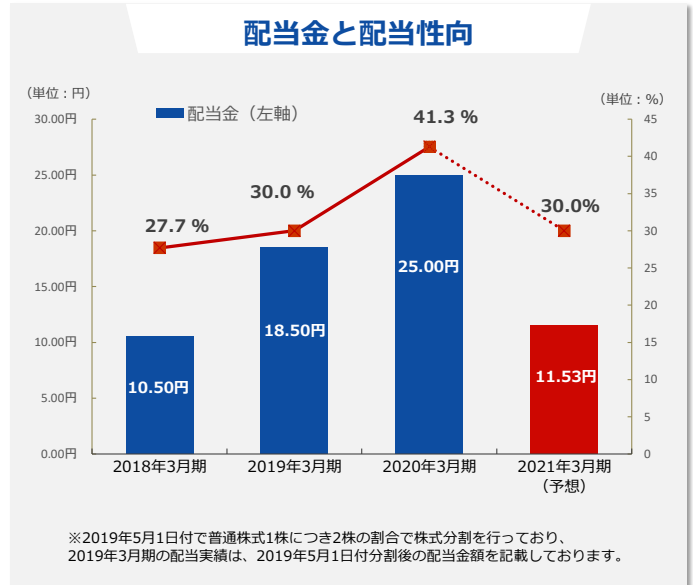
5 株主還元方針

基本方針

当社は、株主に対する利益還元と企業価値の向上を経営の重要課題と位置付けており、成長投資のための資金の確保及び事業環境の変化に対応できる企業体質の強化とのバランスを考慮しつつ、連結配当性向30%を目安に株主の皆さまへ安定した利益還元を継続することを基本方針としております。

2021年3月期の配当予想

2021年3月期の期末配当につきましては、通期連結業績予想の上方修正に伴い、2020年8月7日に公表いたしました「2021年3月期 第1四半期決算短信 [日本基準] (連結) 配当予想」の一株当たり配当予想額 (9.32円) を11.53円に修正いたしました。



- ・株主還元方針についてご説明いたします。
- ・当期の配当金見込みは、修正前の配当性向30%、9円32銭から、修正いたしました利益に対し同じ配当性向30%により11円53銭といたしました。
- ・前述いたしました通り、特に今期、そして来期については新しい事業に今まで以上に向き合っていくための投資を積極的に行っていく計画でございますので、今期の配当性向は一旦、30%とさせていただきます。

6 補足資料

連結貸借対照表



(単位：百万円,%)

	20年3月末		20年9月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	15,622	69.5	13,583	65.4	△2,038
現金及び預金	6,365	28.3	5,570	26.8	△794
受取手形及び売掛金	8,434	37.5	7,241	34.9	△1,192
固定資産	6,871	30.5	7,186	34.6	314
有形固定資産	4,754	21.1	4,730	22.8	△24
無形固定資産	377	1.7	389	1.9	12
投資その他の資産	1,739	7.7	2,066	9.9	326
資産合計	22,494	100	20,770	100	△1,723
流動負債	9,279	41.3	7,802	37.6	△1,476
未払費用	4,648	20.7	4,318	20.8	△329
未払法人税等	812	3.6	485	2.3	△327
賞与引当金	879	3.9	992	4.8	113
固定負債	1,319	5.9	1,302	6.3	△16
長期借入金	623	2.8	555	2.7	△68
負債合計	10,598	47.1	9,105	43.8	△1,492
株主資本	11,974	53.2	11,742	56.5	△232
純資産合計	11,895	52.9	11,664	56.2	△230
負債純資産合計	22,494	100	20,770	100	△1,723

Point

①稼働縮小による減少

製造系人材サービスの稼働縮小により、流動資産の「受取手形及び売掛金」他及び流動負債の「未払費用」他が減少しました。

②出資

業務提携に伴う株式出資により、固定資産の「投資その他の資産」が増加しました。

③納税

法人税等他の納税により、流動負債の「未払法人税等」他が減少しました。

④配当金

配当金支払により、株主資本が減少しました。

⑤全体

上記の結果、前期末比で資産合計が7.7%減少、負債合計が14.1%減少、純資産合計が1.9%減少となり、自己資本比率は3.3%増の56.2%となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円,%)

	20年3月期 第2四半期	21年3月期 第2四半期	増減額
	金額	金額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△361	547	909
投資活動によるキャッシュ・フロー	24	△398	△422
財務活動によるキャッシュ・フロー	△786	△944	△158
現金及び現金同等物の増減額	△1,122	△794	327
現金及び現金同等物の期首残高	5,633	6,365	731
現金及び現金同等物の期末残高	4,510	5,570	1,059

Point

① **営業活動によるキャッシュ・フロー**
当四半期は、法人税・消費税等の納税や未払費用の減少による支出等を、税金等調整前当期純利益や売掛金の減少による収入等が吸収したことにより、547百万円の収入となりました。

② **投資活動によるキャッシュ・フロー**
当四半期は、業務提携に伴う株式投資や基幹システムの設備投資による支出等により、398百万円の支出となりました。

③ **財務活動によるキャッシュ・フロー**
借入金の約定返済や配当金の支払等の支出により、944百万円の支出となりました。

Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved



人を育て 人を活かす

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

＜IRに関するお問い合わせ先＞

日総工産株式会社 経営企画本部 広報・IR部

電話 045-777-7630

E-mail ir@nisso.co.jp

URL <https://www.nisso.co.jp/>